

迷わず使える！2つの軟膏の使い分け！！

はじめに

高齢者の皮膚はバリア機能が低下し、わずかな刺激でも皮膚トラブルが起こりやすい状態にあります。

そのため、日々のケアで使用する軟膏の「目的の違い」を理解することは、とても大切です。本ポスターでは、現場でよく使われる **アズノール軟膏** と **プロペト軟膏** の特徴や使い分けを、まとめました。

アズノール		プロペト	
	外観		
	中身		
炎症を抑える・傷を治す	目的	皮膚の保護・保湿・摩擦軽減	
<ul style="list-style-type: none"> ・痒みやかき傷がある ・水疱が破れていた ・表皮剥離を発見した 	使用例	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥してカサカサしている ・摩擦や圧迫で赤くなりやすい ・尿や便による汚染の予防 	

軟膏塗布の基本

- ①汚れや排泄物、前に塗った軟膏は除去してから塗布
- ②チューブ先端の接触による二次汚染を防ぐため、綿棒・手指の背側利用などを状況に応じて選択
- ③塗布後は、必要に応じて適切な保護（ガーゼ・フィルムなど）を行う
- ④利用者の痛み・かゆみ・赤みに注意し、変化があれば共有する

引用参考文献

- 1) 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン, 2023 .1
- 2) 褥瘡の治療について 日本褥瘡学会



アズノールの原料となるのカモミールの花
花言葉「逆境に耐える」